わたぼうし つうしん

令和 5年7月号
（No.265 ）

わたぼうし
病児保育室
塚田こども医院
（保育室専用電話）
025-544-7779

だんだん暑い日が増えてきましたね！
水分補給をしっかり行い脱水にならないよう
気をつけましょう!!

わたぼうしでは、現在、連日多くの方が
ご利用されています。定員いっぱいとなり、
キャンセル待ちといった状況です。
また、外でのコロナ等の検査や症状の聞き取りを
行う受入れでは、お待たせしてしまっています。
ご迷惑をお掛けし、大変申し訳ありません。
来られた方から順番に対応させて頂きますので
ご協力よろしくお願い致します。

このところRS、胃腸炎、ヘルパンギーナなど、いくつかの感染症が同時に、かつ大きな規模で流行しています。次から次にいろんな感染症にかかり、大変な状況のご家庭も多いことでしょう。

いざという時にはどうぞご利用してくださいと言っている病児保育ですが、定員ギリギリ、満室に近い状態が続いています。

この事態が解消するよう、皆さんにもぜひご協力をお願いします。詳しくは２面をごらんください。

（院長）

全てのお持ちものに名前の記入をお願いします!!

例）・オムツ1枚ずつ
・カバンには見えやすい名前表記
・スプーン、フォーク、はし（ケースにも）

名前がない場合、こちらでテープなどでお名前などをつけさせて頂いていますが、ご利用人数が多い為、お家から記名して頂けると、とても助かります!!

看護大学生さんたちが実習に来ています

「いっしょにあそぼお」と
お子さんたちに学生さんたちは大人気!!
学生さんたちと離れる時に涙するお子さんもいました
お子さん、学生さん共に思い出となる時間になったかと思います
♥ステキな看護師さんになってね♥

先月のまとめ

利用者数（22 日間）673 名 《一日あたり20～35 名》
（うち上越市病児保育事業対象 664 名） 《平均 30.6 名》
現在の登録者数 1164 名
入室初日の病状：急性期 284 件、回復期 81 件

感冒	RSウイルス	感染性胃腸炎
ヘルパンギーナ	感冒性下痢症	急性気管支炎
アデノウイルス感染症	喘息性気管支炎	急性上気道炎
下痢症	胃腸炎	溶連菌
発疹症	突発性発疹	RSウイルス（臨床診断）

ご利用にあたってのお願い

当地では現在いくつかの感染症が流行し、園や学校を休む子どもたちが多くなっています。そのため、わたぼうし病児保育室は連日多くの子どもをお預かりしている状況が続いています。また、とくにRSウイルス感染症は年齢の小さな子どもの罹患が多く、保育士の負担が通常以上になっているのが現状です。

定員は35名ですが、このところほぼ定員いっぱいの利用の日が多くなりました。ときには預け入れのご希望があるにもかかわらず、お断りしていることもあり、心苦しく思っているところです。また、朝の受け入れ時には新型コロナなどの感染症迅速検査の実施、トリアージなどに時間がかかり、ご迷惑をおかけしています。

わたぼうし病児保育室の役割が十分に果たせるよう、利用者のみなさんにもいくつかのお願いがあります。

（１）回復期の病児は病後児保育室をご利用ください

当施設は発熱中や嘔吐しているなど、急性期の病児が対象です。回復期に入り、体調が良くなってきた段階では、病後児保育室（上越市内に２か所あります）のご利用を検討してください。当院から「医師連絡票」を発行いたします。最初から微熱など、軽症の場合も同じです。

また、念のために予約をとっている方もおられますが、それによって急性期の病児を受け入れられなくなる場合があります。実際に必要になった時に予約をするようにしてください。

（２）主治医からの「医師連絡票」をご持参ください

他院での診療のあとに当施設をご利用いただく際は、主治医に「医師連絡票」を記載していただき、それをご持参ください。そうすることによって、診断名、診療内容、保育上の注意事項などが明確になります。逆にそれがない場合は、保護者からの聞き取りだけで判断することになり、業務の煩雑さが増し、保育の上での間違いが生じないとも限りません。

市内の医療機関には、上越市から「医師連絡票」の用紙が配布されており、求めがあれば協力するように依頼されています。また、上越医師会の働きかけで、この連絡票を作成した場合は、診療保険に文書料が上乗せできるような仕組みが作られています（自費にはなりません。また、自治体の医療費助成があるために、保護者の窓口負担が増えることもありません）。

当施設の利用を希望される方は、ぜひ主治医に「医師連絡票」を記載していただくよう、お願いしてください。

（３）必ず予約をしてください

予約はインターネット上で受け付けています。前日夜６時30分からです（前日が休日の場合は、前日の朝から予約受付）。予約のないお子さんの預け入れは行っていませんので、御了承下さい。なお、当日の途中からの受け入れは、保育室に余裕がある場合は可能ですので、電話で直接ご連絡ください。

当施設の規模はすでに全国トップクラスですが、より使いやすい施設になるよう、これからも努力を続けていきます。ご利用の保護者の方々にもご理解をいただき、急性期の病児保育施設としての役割がさらに果たせるようにしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

2023年７月１日

わたぼうし病児保育室施設長　塚田次郎
（塚田こども医院院長）